

教団新報

定 価 1部144円(本体133円+共206円)
予約購読料 1年分 千共 5,150円
紙代のみ 3,600円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 道家紀一
編集主筆 渡邊義彦
印刷所 株式会社きかんし

宣教方策会議

2017年度

「日本伝道をどう考えていくか」を主題に開催



84名の出席を得て、富士見町教会にて開催

発題

3月5、6日、2017年度日本基督教団宣教方策会議が富士見町教会を会場に、主題を「日本伝道をどう考えていくか」宣教基本方策をもとに、題して開催された。教団四役はじめ、教団内の各委員会、教区代表者等合わせて84名が出席した。

米倉美佐男宣教委員長が、個人的な意見として「色々な問題を抱えている教団であるが、日本基督教団信仰告白と教憲教規を整えていく中で教団が教会と成ることを願っている。様々な意見があるが、会の中で忌憚なく話し合いたい」と挨拶し、教職・信徒各2名の発題を聞くところから会議が始められた。

最初の発題者は古澤啓太牧師(神戸東部教会)。

「宣教基本方策」(1961年)を巡り議論

同氏は冒頭、「教団のバラバラさに自信を持つべき」と語り、現行の宣教基本方策を詳細に分析し、「基礎」「教会」「教職」「信徒」「伝道」「内外協力」「調査広報」「機構」という宣教方策の8つの項目をそれぞれについて、数々の提案をした。

続いての発題者は西谷美和子氏(大宮教会員)。

「日本伝道とは、神の家族がキリストの愛に込め、受容し合う歩み」と題して女性信徒の視点から発題した。大宮教会の牧会の状況を話し、全国教会婦人会連合の動きに言及しつつ、「信徒一人ひとりが祭司として執り成し合い、悲しみ、喜びを受容する信仰に立つとき、イエスの名によって

福音を宣べ伝えることが出来る」と結んだ。3人目の発題者は中島曉彦氏(八王子教会員)。11頁の資料が用意されたが、特に「信仰生活」「伝道の対象」「信徒伝道」課題と疑問。「伝道の拠点」について語った。同氏が

強調したのが、信徒減少という現実の中で、伝道は教職任せではなく信徒が教職と共に担っていく業である、信徒は人を教会に連れてくるのが重要なのである、伝道にはそれなりの財が必要である、ということであった。

最後の発題者は古澤永牧師(愛知教会)。自身の信仰のルーツは教団ではないというところから話は始まり、それ故ある時期まで教団で起っていたことを自分の問題として受け止めることができなかつたことや、教団で働き場が与えられて以降に感じた問題点を、具体的に事例を挙げ語った。発題後フロアからは、

特に2人の教職の発題に対する意見があったが、米倉委員長は、紛争世代と紛争を知らない世代のギャップの問題こそが今回のテーマの一つであると語り、その中で伝えるべきことは伝えなければならぬし、どこで教団が一致できるかということとを世代を超えて探っていくべきと応じた。(小林信人報)

に一致して霊性を高め、具体的な伝道の働きは各教会が担う。各教会の伝道力を高めるのは復活の主を礼拝する喜びである」と議長は語り、その礼拝の喜びに各教会が包まれる道筋を立てることが教区の急務であると結んだ。

小畑太作西中国教区議長は、教区宣教基本方針が「祈り」の中で掲げる「わたしたちは様々な重荷を背負う人々の出会いを通して、つくり変えられ：その人々と共に生きる」を紹介しつつ、福音伝道という教会の主眼的目標ではなく、社会から教会に何が求められているかに御旨が表れるとの見解を述べた。教会の願いや思いではなく、世に仕えることを中心とする活動に、教会の存在意義と今後進むべき方向を見出せるのではないかと提

教区議長報告

4教区議長、取組みを報告

初日の夜、北海、東海、西中国、中部の各教区議長が取組みを報告した。久世そら北海教区議長は、教区の厳しい状況の背景に北海道社会が抱える行政サービスの低下などによる暮らしづらさの深刻化、若年人口の流出などの課題があること

をまず指摘した。その中で教区は1984年から10年ごとに長期宣教計画を立てて来た。1994年以降は一貫して革新・連帯・平和を掲げ、現行の第四次長期宣教計画(2014-2023)では社会が縮小して行く時にこそ、教会は活動を

豊かにして力強く社会に働きかけることを神からのミッションと受けとめ、礼拝の充実と礼拝を守り続けるための相互支援、礼拝から始まる社会平和への働きかけに取組んでいる。

宮本義弘東海教区議長は、教区の土台が「伝道」とは福音を宣べ伝えることにあると述べた。これまでの教区伝道部婦人委員会、青年委員会等の活動による教区主導型の伝道では進展が見られなかつたことから、2016年に東海教区五力年計画を立案した。五力年計画では教区は伝道のため

禁じられる中、マケドニア州の叫びを聞き、ヨーロッパ伝道の道が開かれたことに触れ、危機の中で伝道が聖霊の業であることに希望を与えられ、助けを求める叫びを聞くことの重要性を語った。講演後に行われた分団協議は、議論を交わすよりも聞き合うことに主眼を置いてワールドカフェ方式で行われた。宣教基本方策の8つの項目毎にテーブルが設けられ、参加者は巡回しながらそれぞれのテーマについて協議し、テーブル毎に用意

された模造紙に、意見を残して行く。分団協議後、テーマ毎の報告を聞く時を持った。以上を踏まえ、全体協議では、様々な意見が述べられた。特に、教団、教区、教会の役割について、「伝道するのは教会であって、教団がすべき」とは教会の伝道をいかに支えるかという意見や、今回、全教区が出席していないこと、距離を置いている沖縄教区から、教区の申し込みを経ず参加者があることを指摘しつつ、教区を軽んじるべき

講演・全体協議

「信仰の一致における伝道協力」を改めて訴える

2日目、石橋秀雄議長が「マケドニアの叫び―行き詰まりの中で」と題する講演を行った。冒頭、東日本大震災に

直面し、「信仰の一致における伝道協力」を訴え取り組んだことを振り返り、教団における信仰の一致が信仰告白による一

致であることを語った。続いて、この告白にある教会が、「キリストの体としての教会」、「御言葉の秩序としての教会」であることを教憲の条文を紐解きつつ語り、「教会の第一の使命が、受洗者を生み出し、聖餐において十字架と復活の命に与り、キリストの体である

教会の枝となつて行くことである」、また「教憲による一致があつてこそ、

最後に、使徒言行録16章で、パウロが御言葉を語ることを聖霊によって

禁じられる中、マケドニア州の叫びを聞き、ヨーロッパ伝道の道が開かれたことに触れ、危機の中で伝道が聖霊の業であることに希望を与えられ、助けを求める叫びを聞くことの重要性を語った。講演後に行われた分団協議は、議論を交わすよりも聞き合うことに主眼を置いてワールドカフェ方式で行われた。宣教基本方策の8つの項目毎にテーブルが設けられ、参加者は巡回しながらそれぞれのテーマについて協議し、テーブル毎に用意

された模造紙に、意見を残して行く。分団協議後、テーマ毎の報告を聞く時を持った。以上を踏まえ、全体協議では、様々な意見が述べられた。特に、教団、教区、教会の役割について、「伝道するのは教会であって、教団がすべき」とは教会の伝道をいかに支えるかという意見や、今回、全教区が出席していないこと、距離を置いている沖縄教区から、教区の申し込みを経ず参加者があることを指摘しつつ、教区を軽んじるべき



石橋議長講演

最後に、使徒言行録16章で、パウロが御言葉を語ることを聖霊によって

禁じられる中、マケドニア州の叫びを聞き、ヨーロッパ伝道の道が開かれたことに触れ、危機の中で伝道が聖霊の業であることに希望を与えられ、助けを求める叫びを聞くことの重要性を語った。講演後に行われた分団協議は、議論を交わすよりも聞き合うことに主眼を置いてワールドカフェ方式で行われた。宣教基本方策の8つの項目毎にテーブルが設けられ、参加者は巡回しながらそれぞれのテーマについて協議し、テーブル毎に用意

された模造紙に、意見を残して行く。分団協議後、テーマ毎の報告を聞く時を持った。以上を踏まえ、全体協議では、様々な意見が述べられた。特に、教団、教区、教会の役割について、「伝道するのは教会であって、教団がすべき」とは教会の伝道をいかに支えるかという意見や、今回、全教区が出席していないこと、距離を置いている沖縄教区から、教区の申し込みを経ず参加者があることを指摘しつつ、教区を軽んじるべき

禁じられる中、マケドニア州の叫びを聞き、ヨーロッパ伝道の道が開かれたことに触れ、危機の中で伝道が聖霊の業であることに希望を与えられ、助けを求める叫びを聞くことの重要性を語った。講演後に行われた分団協議は、議論を交わすよりも聞き合うことに主眼を置いてワールドカフェ方式で行われた。宣教基本方策の8つの項目毎にテーブルが設けられ、参加者は巡回しながらそれぞれのテーマについて協議し、テーブル毎に用意

禁じられる中、マケドニア州の叫びを聞き、ヨーロッパ伝道の道が開かれたことに触れ、危機の中で伝道が聖霊の業であることに希望を与えられ、助けを求める叫びを聞くことの重要性を語った。講演後に行われた分団協議は、議論を交わすよりも聞き合うことに主眼を置いてワールドカフェ方式で行われた。宣教基本方策の8つの項目毎にテーブルが設けられ、参加者は巡回しながらそれぞれのテーマについて協議し、テーブル毎に用意

(嶋田恵悟報)

▼ 伝道委員会 ▲

伝道委員長会議、主題を決定

第4回委員会が、2月20～21日に宿泊ホテルならびに愛宕町教会で行われた。

石田真一郎幹事より業務報告及び会計報告を受けた。

伝道委員会内の各担当の報告を受けた。

2018年度予算を、一部訂正の上で承認した。

2018年度開拓伝道援助金に申請のあった3件（北海教区・俱知安伝道所、神奈川教区・横須賀上町教会、四国教区・潮江教会）を審査し、支出を申請額の3分の2で承認した。なお、2017年度後期貸出金申請および2018年度エフロク申請は申し出がなかった。

伝道に関する発題は、「ボンヘッファーと伝道論」と題し、兼清啓司委員からなされた。ボンヘッファーの著作『服従』における、主に従うことがない〈安価な恵み〉と服従する〈高価な恵み〉から始まり、〈代理〉という概念によって、主イエスが全うされた他者への責任において新しい生き方が示されること、〈究極的なもの〉と〈究極以前のもの〉によって、前者を知る教会は、この世において後者をも真剣に進めることで〈安価な恵み〉に陥ることがなく、伝道に向かうことが整理して説き明かされた。

第40総会期教区伝道委員長会議 6月18～19日、横浜指路教会にて開催

について、準備を進めた。教勢、財政が低下する状況を踏まえつつ、希望を確信して伝道に向かうため、主題を「日本伝道の危機と希望」、副題「信仰のともし火を守る」と定めた。伝道圏伝道、教会合併、開拓伝道、信徒によって教会を守る事例の報告者を立て、パネルディスカッションを行うこととした。

水沼昭子委員の祈祷によって閉会した。

（飯田敏勝報）



東海教区農伝協議会と共催にて開催

《農村伝道協議会報告》

農村伝道協議会が、山梨・石和温泉華やきの章 甲斐路にて、2月19～20日に行われた。今回は東海教区第54回農村伝道協議会との共催で、主題は「農村伝道と福音を正しく宣べ伝える教会」であった。小宮山剛教団伝道委員長の開会礼拝と挨拶に始まり、宮本義弘東海教区議長の挨拶

を交えて、それぞれが継続してきた協議会の意義や経緯が説明された。主たるプログラムとして、2組の発題がなされた。遠州栄光教会内の教会学校から始まった深秋の伝道の歩みを、宮本成俊兄（当日はインフルエンザのため欠席）と丸山信子姉と山中徳美姉（3名とも遠州栄光教会員）によって、区分された時期ごとに説明と評価を聞いた。そこでのリン

加者からの生產品をも味わう機会が、交流会においてあった。

全体協議において、かつて教団の機構改革において農村伝道の専門委員会を廃止したことに敵意を覚えていたが、今回の共催によって、実際に人の到来と語り合いによってその敵意が消えたとの発言があった。共催の意義を深く感じるものであった。

共通のプログラムを終えた後、教団からの参加者はフィールドワークに出掛け、ワイナリーの原茂園と勝沼教会を訪ねた。

（飯田敏勝報）

▼ 社会委員会 ▲

大嘗祭を巡り討論

第4回社会委員会が全国社会委員長会議の後、2月27～28日、教団事務局会議室にて開催された。

常議員会から当委員会に大嘗祭に関する研究と取り扱いが求められたことを受け、戒能信夫氏（千代田教会牧師）を招き「平成天皇の生前退位と大嘗祭」と題して講演してもらった。はじめに大嘗祭についての基本的な事柄が述べられた後、内村鑑三の「不敬事件」、矢内原忠雄の神権天皇制批判を例に、その様な天皇制批判をする者が周囲から攻撃される、そのことに対

る。日本国憲法、政教分離の観点からこのことをどう理解するのか。そして日本基督教団はこのことについてどう対応するのか。

このように問われた。講師より「平成天皇の生前退位の意向は、天皇の第二の人間宣言である。このことは十戒の第一戒に

関わる問題であり、我々キリスト者はこのことを無視してはいけない」と示した。その後、講師を交えて自由討論の時を持った。委員会として取り組むを継続する。

続けて諸報告の後、社会福祉施設援助金送金先と援助額に関する件」を

審議。6教区からそれぞれ推薦された施設に対して、資料を精査し、援助金の送金を可決した。他「2018年度予算に関する件」や「社会委員会通信」の発行に関して審議を行った。

（石井佑二報）

《全国社会委員長会議報告》

第40総会期全国社会委員長会議が2月26～27日、教団会議室にて開催された。

森下耕委員長による開会礼拝の後、伊藤朝日太郎弁護士より『共謀罪』からどう身を守り、廃止を展望するか」と題して講演があった。『共謀罪』をめぐっての今日の状況において、私たちは『安

全』『国防』を唱える権力者の言葉に懐疑を持たなければならぬ。そしてこの共謀罪の廃止に持ち込むべきである。権力者は共謀罪を用いて、私たちを『敵か、味方か』に

の力が求められるのではないか。

続いて金性済牧師より「歴史の亡霊に抗いー天皇制ファシズムの再来？」と題して、発題があった。治安維持法と教会は国家からの弾圧とテロリズムとに対して戦って行かなければならぬ。

その後、質疑応答。さらに内容が深められた発言があり、続けて全体会にて、参加者の感想、意見



「共謀罪」を主題に講演

見が述べられた。そして教区報告として各教区より、社会委員会等の活動が報告された。その報告を経て、次のような要望が出された。「教団に、各教区での講演会などのために適切な講師を推薦できる人材バンクのような制度を作って欲しい。」

「共謀罪」をめぐっての今日の状況において、私たちは『安

の力が求められるのではないか。

続いて金性済牧師より「歴史の亡霊に抗いー天皇制ファシズムの再来？」と題して、発題があった。治安維持法と教会は国家からの弾圧とテロリズムとに対して戦って行かなければならぬ。

その後、質疑応答。さらに内容が深められた発言があり、続けて全体会にて、参加者の感想、意見

「共謀罪」をめぐっての今日の状況において、私たちは『安

の力が求められるのではないか。

続いて金性済牧師より「歴史の亡霊に抗いー天皇制ファシズムの再来？」と題して、発題があった。治安維持法と教会は国家からの弾圧とテロリズムとに対して戦って行かなければならぬ。

その後、質疑応答。さらに内容が深められた発言があり、続けて全体会にて、参加者の感想、意見

教師検定試験公告

2018年秋季教師検定試験を左記の要領で行います。

- 1、受験要綱の申し込み
受験要綱と教団指定の願書用紙は160円切手を同封し、正教師受験志願者か補教師（A、B、Cコースの別も）受験志願者かを明記した上、封書でお申し込みください。
 - 2、受験願書の提出
受験願書と必要書類を整えて、受験料とともに所属教区に提出してください。
 - ①教区締切 2018年6月1日（金）（教区により締切が異なりますので、教区事務所に確認してください。）
 - ②教団締切 2018年6月28日（木）（各教区から教師検定委員会に提出する際の締切です。）
＊受験料は正教師1万3千円、補教師1万円。
 - 3、正教師「説教」「釈義」の課題テキスト
①旧約 ハバクク書2章1～4節
②新約 ローマの信徒への手紙8章18～25節
 - 4、正教師の「神学論文」の課題
『今日における宣教の課題』に、「特に」をめぐってという副題をつけ、ご自分の「伝道・牧会をふまえて神学的に論述してください。」
 - 5、正教師の「組織神学」の課題
『贖罪論』について、伝道する教会を視野にいれ、組織神学的に論じてください。
 - 6、補教師「説教」「釈義」の課題テキスト
①旧約 サムエル記上2章1～11節
②新約 ルカによる福音書16章19～31節
＊コースによって「説教」「釈義」の提出内容が異なりますので、必ず受験要綱でご確認ください。
 - 7、補教師（CⅢコース）の牧会学の課題
『牧会とは何か』について神学的に論述してください。
 - 8、提出物締切について
当委員会への提出締切日は、「説教」「釈義」「神学論文」「組織神学」「牧会学」全て2018年6月29日（金）必着です。
 - 9、学科試験・面接試験について
学科試験は9月11日（火）、面接は9月12日（水）、13日（木）に大阪クリスチャンセンターにおいて実施します。詳細は受験志願者に通知いたします。不明な点は直接、当委員会へお問い合わせください。
- 2018年3月31日 日本基督教団教師検定委員会
- 〒169-0005 東京都新宿区西早稲田2-13-18-31
電話 03-33202105 46



教会外観と礼拝堂

郡山細沼教会の歴史は、日本基督教会須賀川講義所に赴任した多田晋伝道師によって始まります。1893（明治26）年、今から125年前のことです。歴代の牧師は、創立初期には主に東北学院神学部（創立者・押川方義、日本基督教会創立者の

けるように、福島原発の放射能の一部が県浜通りから中通りまで到達し（直線距離約55km、立ち木も含め除染が必要になった次第です。筆者は、震災半年後、隣りの本宮教会に赴任し、礼拝堂再建に助力させていただきました。

支援の範囲内で出来る限りの補修をさせていただきました。一昨年には、樹齢100年近い樹木もすべて放射能汚染のため伐採し、昨年11月には、駐車場地下に埋めてあった除染土の搬出作業も終えました。

これらの手続のために、代務者の佐藤健・七海牧師夫妻が献身的に奉仕され、近隣の牧師方にもお世話になりました。また、震災以降、毎年夏に、当教会を覚えて問安してくださる教会もあり感謝の限りです。2017年7月、隠退していた筆者が現職復帰し、当教会に赴任いたしました。週3日の単身赴任です。3つの使命をもつての着任です。牧会、伝道、後任牧師招聘の環境整備。さらにもう一つ、次の会堂の建築資金積立が必要なのも判明しました（白蟻被害多数あり。あと20年か？）。

現在、2018年度以降の宣教方針・宣教計画を策定すべく「宣教協議」を重ねています。現任陪餐会員は15人、礼拝出席者は主日平均10人です。中心は当然ながら礼拝です。「喜びの礼拝、充実した礼拝をすれば必ず人は来る」。そう信じて主日礼拝を第一にしています。また、パイプオルガン、空地の活用等も考えています。

最後に、恐れながら、教団レベルでの提言を3点述べさせていただきます。一つは、日本基督教会（1872年）の精神の復権（神の摂理の実質化）。二つ目は、会議制の実質化（教団・教区議長の権限の尊重と行使）。三つ目は、牧師による教会私物化の排除（定年制、付属施設の家族就業の禁止等の規則制定等）。喫緊の重要課題です。

「クリスチャントゥデイ」声明・説明会 2月23日、『クリスチャントゥデイ』（以下張グループ）に

冒頭、教団・統一原理問題連絡会（以下連絡会）世話人の豊田通信牧師（仙台五橋教会）より、説明会開催に至る経緯について説明があった。

本年1月27日付で石橋秀雄議長より出された「クリスチャントゥデイ」など張在亨牧師グループに関する声明」は、2008年6月に山北宣久議長（当時）より出された『「クリスチャントゥデイ」に関する声明』の有効性を再確認するものであり、連絡会が調査を行った結果であることが報告された。

続いて、連絡会世話人の齋藤篤牧師（深沢教会）より、連絡会がおこなった調査内容についての説明があった。

連絡会は、CT疑惑を指摘したキリスト教教職者を、名誉棄損で提訴した民事訴訟判決の内容精査をおこなった結果、判決後のCT社見解に示された内容では、疑惑解消に至るには不十分であることを指摘し、さらに連絡会が昨年、張グループ教会に属し、張氏の命令によってCT社で働いた経験のある元メンバーの聞き取り調査をおこない、その際に撮影したビデオを上映した。これらにより、CT社を含む張グループの存在と疑惑を再確認し、CT社は説明責任を果たすべきであることを述べた。

さらに、CT前編集長の雑賀信行氏、元従業員中橋祐貴氏より、CT社における不透明な経営実態と、疑惑に対する説明責任を果たすよう再三社長と当時の状況を知る社員に要求したが反故にされた状況が語られた。



説明を受けての質疑応答は、約1時間にわたり行われ、CT社長である矢田喬大氏からも反論が述べられた。最後に石橋秀雄議長が挨拶し、説明会を終了した。（齋藤 篤報）

「最近ようやく人生の出来事の辻褄が合って来た」。迷い、悩むことの多かった自身の歩みを振り返りつつ、小野なおみさんは語る。何のつながりも見いだせなかった一つの出来事が結び合って行くような感覚だという。

4代目のクリスチャン。幼児洗礼を受け、20歳で信仰告白。劇的な回心の体験があったわけではない。

音大で音楽理論を学ぶことを志したが、「オルガン科なら」とピアノの先生から言われ、オルガン科に進んだ。教会オルガニストであった祖母が目標のようになっていたのかもしれないが、それを自覚したのは後になってから。

東北教区センターエマオのスタッフとしての働きも加わった。オルガン講座を担当する他、企画、運営にも携わる。

2018 年教区総会日程

教区	会 期	会 場	問安使
北 海	4月30日(月)10:00	札幌北光教会	石橋秀雄
	5月1日(火)15:30		
奥 羽	5月22日(火)12:30	奥羽キリスト教センター	秋山 徹
	5月23日(水)15:45		
東 北	5月29日(火)13:00	仙台青葉荘教会 東北教区センター・エマオ	佐々木美知夫
	5月30日(水)16:00		
関 東	5月23日(水)10:00	大宮・ソニックシティ小ホール	雲然俊美
	5月24日(木)16:00		
東 京	5月29日(火)10:00	富士見町教会	雲然俊美
	5月30日(水)21:00		
西東京	5月27日(日)15:00	吉祥寺教会	雲然俊美
	5月28日(月)17:00		
神奈川	6月23日(土)10:00	清水ヶ丘教会	秋山 徹
	6月24日(日)16:00		
東 海	5月22日(火)13:30	御殿場高原・時之栖	秋山 徹
	5月23日(水)15:00		
中 部	5月22日(火)13:00	金沢教会	佐々木美知夫
	5月23日(水)13:30		
京 都	5月21日(月)10:00	京都教会	石橋秀雄
	5月22日(火)15:00		
大 阪	5月3日(木)13:30	大阪女学院ホールチャペル	秋山 徹
	5月4日(金)16:00		
兵 庫	5月20日(日)16:00	神戸栄光教会	秋山 徹
	5月21日(月)18:00		
東中国	5月28日(月)13:00	岡山教会	佐々木美知夫
	5月29日(火)15:00		
西中国	5月15日(火)13:30	エソール広島	石橋秀雄
	5月16日(水)16:00		
四 国	4月30日(月)13:00	高知教会	佐々木美知夫
	5月1日(火)15:00		
九 州	5月2日(水)9:30	九州キリスト教会館	雲然俊美
	5月3日(木)15:00		
沖 縄	5月27日(日)16:30	沖縄キリスト教センター	石橋秀雄 秋山 徹
	5月28日(月)17:00		



小野なおみさん

御心を問いつつ



仙台東六番丁教会員。宮城学院女子大学講師。